

過去の研修情報

H21年度(2009年度)

		開催日	場所	参加者
<p>第8回 京都府地域リハビリテーション研修会 「生活期を支えるリハビリテーションの活用を考える」</p>	<p>講演「生活期リハビリテーションの重要性と回復期リハビリテーションの地域における役割」 第二岡本総合病院リハビリテーション科 部長 高橋守正</p> <p>シンポジウム「生活期を支えるリハビリテーションの活用を考える～相互の役割と地域連携の必要性～」 「回復期リハビリテーションの役割 在宅生活を見据えた関わり」 丹後中央病院リハビリテーション科 理学療法士 丸山 小百合</p> <p>「生活期リハビリテーションの役割と情報提供書の取組～訪問に関わる立場から～」 京丹後市立弥栄病院 リハビリテーション科 訪問部門 理学療法士 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター</p> <p>「生活期を支えるために必要な在宅サービスの活用、ネットワークの必要性」 伊根在宅介護支援センター 看護師・介護支援専門員 大江 千尋</p>	6月27日(土)	アグリセンター大宮 ホール	108名
<p>第9回 京都府地域リハビリテーション研修会 「地域連携と生活期リハの重要性 訪問・通所リハに求められること」</p>	<p>基調講演「地域リハの戦略と在宅リハの役割」 全国訪問リハビリテーション研究会 会長 船橋市立リハビリテーション病院 教育管理部長 伊藤 隆夫</p> <p>シンポジウム「地域連携と生活期リハの重要性を考える — 訪問・通所リハに求められること —」 「訪問リハからみた、地域連携の必要性」 神野医院訪問リハビリテーション 津山 努</p> <p>「介護保険サービスとしての生活期リハビリテーションに期待すること」 訪問看護ステーションひだまり 所長 大野 公子</p> <p>「急性期・回復期リハから在宅復帰へ向けた支援と地域連携」 京都市づ川病院 リハビリテーション室 係長 中本 隆幸</p>	8月1日(土)	宇治市生涯学習センター 第1ホール	94名
<p>第5回 京都府リハビリテーション専門職研修会 「呼吸リハビリテーションを理解するために」</p>	<p>特別講演「呼吸リハビリテーションの基礎と実際」 京都桂病院 リハビリテーションセンター 部長 宮崎 博子</p> <p>教育講演「慢性呼吸不全の評価とリハビリテーション」 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科 理学療法士 長谷川 聡</p> <p>実践報告「慢性呼吸不全患者の日常生活の捉え方と指導・訓練」 国立病院機構刀根山病院 リハビリテーション科 作業療法士 川邊 利子</p> <p>ミニシンポジウム「呼吸リハビリテーションの実際とチームアプローチ」 座長 京都府立医科大学 呼吸器内科 助教 有本 太一郎</p>	10月18日(土)	京都府立医科大学 附属図書館ホール	137名
<p>京都府総合リハビリテーションセミナー 「障害児・者リハビリテーションの現状と課題」</p>	<p>講演1「京都府における発達障害に対する地域でのサポート体制作り」 講師 京都府中丹東保健所 所長 弓削 マリ子</p> <p>講演2「障害児・者リハビリテーションの現状と課題 ～小児から成人まで～」 講師 元 聖ヨゼフ医療福祉センター 副院長 発達育児メディカルアドバイザー 家森 百合子</p>	2月27日(土)	京都府立医科大学 附属図書館ホール	65名